

研究課題名	上部消化管粘膜下腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法に関する多施設後ろ向き観察研究
研究期間	承認日から 2031 年 03 月 31 日まで
研究の概要	上部消化管粘膜下腫瘍に対して EUS-FNA 及び EUS-FNB を受けた患者さんのデータを後ろ向きに調査し、解析します。
研究の背景・目的	上部消化管粘膜下腫瘍は上部消化管内視鏡検査（胃カメラ検査）などでしばしば見つかる疾患です。粘膜下腫瘍は表面が正常粘膜で覆われているため、観察のみで内部性状を確定することは困難なため、正確な診断が必要な場合は超音波内視鏡下穿刺吸引法/生検法（EUS-FNA/FNB）が行われます。EUS-FNA/FNB の成績については多くの論文で報告されていますが、対象疾患が膵疾患やリンパ節など多彩であることがほとんどです。本研究では対象を上部消化管粘膜下腫瘍に絞って検討することで、上部消化管粘膜下腫瘍に対する EUS-FNA/FNB の診断能を明らかにすることを目的としています。
研究の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2002 年 7 月 1 日～2030 年 3 月 31 日の間に上部消化管粘膜下腫瘍に対して EUS-FNA/FNB を施行した患者さんです。</li> <li>・ 年齢は 18 歳以上が条件となります。</li> </ul>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>電子カルテから抽出できる既存情報を用います</p> <p>EUS-FNA/FNB の検体採取率 穿刺針 穿刺回数 使用スコープ</p> <p>年齢 性別 既往歴 病変部位 術前診断</p> <p>内視鏡・CT などの画像検査所見 最終病理診断など</p>
研究方法	<p>当院を含んだ多施設で行われた EUS-FNA/FNB のデータを名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科が中心となって解析します。</p> <p>解析には一般的な統計学的手法が用いられます。</p>
研究における医学倫理的配慮	<p>本研究データからは、患者さん本人を直接特定できる情報（お名前など）を削除して匿名化しますので、患者さんを特定することはできません。</p> <p>また、この研究成果については、学会や学術雑誌などで発表する場合がありますが、その場合でも、上記のとおり匿名化しておりますので、患者さんのプライバシーは守られます。</p>
研究の利用範囲	論文や学会発表に利用する予定です。

研究組織	名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学
研究責任者	川嶋啓揮
問い合わせ先	電話番号 : 0562-744-2172
当院担当者	公立西知多総合病院 消化器内科 竹山 友章